専門分野（臨地実習除く）　　43 単位（1050 時間）

＜ねらい＞

1. 看護実践の基盤となる看護の概念・基礎的理論・基礎的技術・看護の展開方法を学ぶ。特にコミュニケーション能力、フィジカルアセスメント能力、日常生活援助技術の実践能力を養い、対象の生活を整えるための安全で質の高い看護を提供できる技術を身につける。
2. 看護師として必要な倫理的判断・臨床判断に基づき看護を実践するための基礎的能力を養う。
3. 各看護学において、あらゆる健康レベル・発達段階にある看護の対象を理解するとともに、援助関係を築き、看護の目的である健康の保持増進や安らかな死を迎えるための看護の方法を学ぶ。
4. 地域などの多様な生活の場で、多職種と連携・協働し、看護をマネジメントできる基礎的能力を養う。

授業科目	単位・時間数
基礎看護学	11 単位　285 時間
地域･在宅看護論	6 単位　135 時間
成人看護学	6 単位　180 時間
老年看護学	4 単位　90 時間
小児看護学	4 単位　90 時間
母性看護学	4 単位　90 時間
精神看護学	4 単位　90 時間
看護の統合と実践	4 単位　90 時間

専門分野 基礎看護学	授業科目	基礎看護学概論	1年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	戸田　悦子		
科目目標 概　　要	看護の基本となる概念を理解し、保健医療福祉における看護の役割を理解する。 看護倫理の基礎的知識を学び、専門職業人としての倫理的態度を学習する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	看護とはなにをする職業なのだろうか 看護師の本来的役割と看護独自の機能 ナイチンゲールの実践にみる看護師の知識と判断力	講義	有	戸田
2	看護の本質	講義	有	戸田
3	看護の役割と機能	講義	有	戸田
4	看護の継続性と連携　他職種連携	講義 ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	有	戸田
5	人間の「こころ」と「からだ」を知ることの意味	講義	有	戸田
6	生涯発達しつづける存在としての人間の理解 人間の「暮らし」の理解	講義	有	戸田
7	国民の健康状態と生活	講義	有	戸田
8	職業としての看護 看護職の資格・養成制度・就業状況	講義	有	戸田
9	看護職者の継続教育とキャリア開発 看護職の養成制度の課題	講義	有	戸田
10	現代社会と倫理 医療をめぐる倫理の歴史的経緯と看護倫理	講義	有	戸田
11	看護実践における倫理問題への取り組み	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	戸田
12	サービスとしての看護 看護サービス提供の場 看護をめぐる制度と政策	講義	有	戸田
13	看護サービスの管理 医療安全と医療の質保障	講義	有	戸田
14	国際化と看護 災害時における看護	講義	有	戸田
15	試験	試験	無	戸田

〈　評　価　〉

筆記試験(7 割)、提出物(2 割)、授業態度・出席状況(1 割)を総合して評価する。
ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・茂野香おる：系統看護学講座専門分野 基礎看護学[1]看護学概論[電子版],医学書院.
・香春知永：系統看護学講座専門分野 基礎看護学[4]臨床看護総論[電子版],医学書院.

専門分野 基礎看護学	授業科目	看護理論	1年次後期　1単位　15時間
科目担当責任者	槙　麻夕子		
科目目標 概　　要	看護実践を効果的に導くために、看護における理論の重要性を理解し、看護で活用されている諸理論とその変遷、および理論の構成について学習する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	看護理論についての基本的理解　理論の発達の背景	講義	有	槙
2	看護理論の評価	講義	有	槙
3	フローレンス・.ナイチンゲールの業績	講義 DVD	有	槙
4	ナイチンゲール看護論の基本が理解できる ナイチンゲールと「看護覚え書」	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	槙
5･6	看護理論 主な看護理論の内容と背景にある考え方を学修する 6グループで各理論家を選び、理論を学習する	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	槙
7･8	プレゼンテーション	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	無	槙

〈　評　価　〉
ミニレポート(2割)、
グループ課題とプレゼンテーション(8割：提出資料及び参加態度を総合して評価)

〈　テキストおよび参考文献　〉

・F.ナイチンゲール/湯槙ます他訳：看護覚え書－看護であること･看護でないこと－第6版,東京,現代社,308p,1860/2000.
・茂野香おる：系統看護学講座専門分野 基礎看護学[1]看護学概論[電子版],医学書院.

専門分野 基礎看護学	授業科目	人間関係の技術	1年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	北川　裕子		
科目目標 概　　要	1. コミュニケーションの基本概念、基本構造を学び、コミュニケーション技術の重要性を理解する。 2. コミュニケーション技術を実際の人との関わり場面で活用する方法について理解する。 3. 臨床現場における協力・連携の方法を学ぶ。 4. 人間関係を成立させるための基礎的態度を学ぶ。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	Ⅰ　人間関係の基本 1. コミュニケーションの意義と目的、構成要素と成立過程 2. 対人関係に必要な不可欠な要件	講義	有	北川
2	Ⅱ　コミュニケーション技術 1. 関係構築のためのコミュニケーションの基本 1）言語的・非言語的コミュニケーション	講義	有	北川
3	2）コミュニケーションを支える環境 3）距離・テリトリー	講義	有	北川
4	4）挨拶・笑顔・身だしなみ・態度・言葉遣い①	講義	有	北川
5	4）挨拶・笑顔・身だしなみ・態度・言葉遣い②	講義	有	北川
6	2. 効果的なコミュニケーションの実際① 1）傾聴と共感	講義	有	北川
7	2. 効果的なコミュニケーションの実際② 2）質問と説明	講義 DVD視聴	有	北川
8	2. 効果的なコミュニケーションの実際③ 3）アサーティブネス	講義 DVD視聴	有	北川
9	Ⅲ　臨床現場に活かすコミュニケーション 1. コミュニケーション障害がある人の特徴と対応 2. リフレクション	講義 DVD視聴	有	北川
10	3. カンファレンス①	講義	有	北川
11	3. カンファレンス②	演習	有	北川
12	4. コミュニケーション演習	模擬患者演習 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	担当教員
13				
14				
15	試験	試験	無	北川

〈　評　価　〉
筆記試験7割、記録物2割、授業態度・出席状況1割を総合して評価する。
ただし、筆記試験においてはそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉
・茂野香おる：系統看護学講座専門分野 基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ[電子版],医学書院.

専門分野 基礎看護学	授業科目	ヘルスアセスメントⅠ	1年次前期　1単位　15時間
科目担当責任者	山口　理恵		
科目目標 概　　要	ヘルスアセスメントの意義と目的を理解し、バイタルサインの観察や身体計測などの実際について学ぶ。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	ヘルスアセスメントとは 健康歴とセルフケア能力のアセスメント 心理・社会状態のアセスメント	講義	有	山口
2	全身状態のアセスメントと援助方法 ・フィジカルアセスメントに必要な技術 ・全身状態・全体印象の把握 (視診・触診・聴診・打診の技術) ・身体計測の実際(身長・体重・腹囲)	講義 演習	有	山口
3	バイタルサインの観察とアセスメント：体温・脈拍	講義 演習	有	山口
4	バイタルサインの観察とアセスメント：呼吸・血圧	講義 演習	有	山口
5	バイタルサインの観察とアセスメント：意識	講義 演習	有	山口
6	バイタルサインと身体計測の実際とアセスメント	演習	有	山口
7･8	バイタルサインと身体計測の実際とアセスメント	演習 筆記試験 技術試験	無	山口

〈　評　価　〉
筆記試験5割、技術試験 4割、参加態度1割を総合して評価する。
ただし、筆記試験、技術試験においてそれぞれで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

･茂野香おる：系統看護学講座専門分野 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ[電子版],医学書院.
･医療情報科学研究所：看護がみえる vol.3,フィジカルアセスメント,第 1 版,メディックメディア,384ｐ,2019.

専門分野 基礎看護学	授業科目	ヘルスアセスメントⅡ	1年次後期　1単位　30時間
科目担当責任者	山口　理恵		
科目目標 概　　要	看護の対象の健康状態を把握する方法として、主に身体面の情報を総合的に判断するための、フィジカルアセスメントの技法を習得する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	呼吸器系フィジカルアセスメント① 呼吸器に特有の問診・視診・触診・打診・聴診の方法がわかり、異常な状態が判定できる	講義 演習	有	山口
2	呼吸器系フィジカルアセスメント②	講義 演習	有	能見
3	呼吸器系フィジカルアセスメント③ モデル人形を用いた呼吸音聴取	講義 演習	有	山口
4	循環器系フィジカルアセスメント①	講義	有	山口
5	循環器系フィジカルアセスメント② 乳房・腋窩のフィジカルアセスメント	演習	有	山口
6	腹部のフィジカルアセスメント①	講義 演習	有	山口
7	腹部のフィジカルアセスメント②	講義 演習	有	山口
8	筋・骨格系のフィジカルアセスメント	講義 演習	有	山口
9	神経系のフィジカルアセスメント 頭頂部と感覚器のフィジカルアセスメント	講義	有	山口
10	神経系のフィジカルアセスメント 頭頂部と感覚器のフィジカルアセスメント	講義	有	山口
11･12	グループワーク演習 ・DVD教材を活用したフィジカルアセスメント	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	山口
13	ケアにつなげる系統別フィジカルアセスメント	講義	有	新村
14･15	筆記・実技試験	演習	無	山口

〈　評　価　〉
筆記試験6割、実技試験2割、レポート1割、参加態度1割を総合して評価する。
ただし、筆記試験6割、技術試験2割においてそれぞれで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

･茂野香おる：系統看護学講座専門分野 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ[電子版],医学書院.
･医療情報科学研究所：看護がみえる vol.3,フィジカルアセスメント,第 1 版,メディックメディア,384ｐ,2019.

専門分野 基礎看護学	授業科目	看護診断	2年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	東條　奈穂		
科目目標 概　　要	健康上の課題解決を目指した看護過程に有効活用できる基礎的能力の修得を目標とする。 1. 看護診断過程を構成する要素とそのプロセスを学び、看護診断を用いることの意義を理解する。 2. ゴードンの看護に対する考え方を学び、看護過程を展開する為の基礎的能力を修得する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	看護診断過程とは 看護過程(総称)と看護診断過程の特徴と相違	講義	有	東條
2	看護診断過程における観察(アセスメント)と アセスメントの枠組み	講義 演習	有	東條
3	情報の整理・解釈・総合～最終的な問題の照合	講義 演習	有	東條
4	看護診断とは	講義 演習	有	東條
5	目標の設定から評価まで	講義 演習	有	東條
6	看護診断過程演習①	演習	有	担当教員
7	②	演習	無	担当教員
8	③	演習	無	担当教員
9	④	演習	無	担当教員
10	⑤	演習	無	担当教員
11	⑥	演習	無	担当教員
12	⑦	演習	無	担当教員
13	⑧	演習	無	担当教員
14	⑨	演習	無	担当教員
15	⑩	演習	無	担当教員

〈　評　価　〉
評価表に基づき評価する。

〈　テキスト　〉
・医療情報科学研究所(編)岡庭豊(発行)：看護が見える vol.4 看護過程の展開, 第1版, メディックメディア, 380p, 2020.
・マージョリー・ゴードン(著)/江川隆子(訳), ゴードン看護診断マニュアル原書, 第11版, 機能的健康パターンに基づく看護診断, 東京, 医学書院, 392p, 2010.
〈　参考文献　〉
・江川隆子：ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断, 第6版, 東京, ヌーヴェルヒロカワ, 164p, 2019. 参考文献は、必要に応じてこちらで提示する

専門分野 基礎看護学	授業科目	生活援助論Ⅰ	1年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	和田　裕子　　更谷　周子		
科目目標 概　　要	環境調整・感染防止 1.健康維持や回復のために生活環境の果たす意義を理解し、生活環境を整えるための援助技術を習得する。 2.対象や自己の安全を守る知識や技術を学ぶ。 3.感染予防の意義を理解し、感染予防の基礎的知識、技術を習得する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	看護技術の概念 1.看護技術の特徴と実践するための要素	講義	有	和田
2	Ⅰ　感染防止の技術 1.感染防止の基礎知識 2.標準予防策(スタンダードプリコーション)	講義	有	和田
3	標準予防策(スタンダードプリコーション) 「手洗い」	演習	有	和田
4	Ⅱ　生活環境 1.療養生活の環境 2.病室環境の整備①	講義	有	更谷
5	2.病室環境の整備②　　ベッドメーキング	講義	有	更谷
6	3.病室環境の整備③	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	更谷
7	4.病室環境の整備④　環境調整	演習	演習ﾁｪｯｸﾘｽﾄ	更谷
8	5.病室環境の整備⑤　リネン交換	講義	有	更谷
9	6.病室環境の整備⑥　リネン交換	プレテスト	有	更谷
10	7.病室環境の整備⑦　リネン交換	演習 技術試験	演習要項 評価表	担当教員
11	Ⅰ　感染防止の技術 3.感染経路別防止策	講義	有	和田
12	4.洗浄・消毒・滅菌	講義	有	和田
13	5.無菌操作 6.感染性廃棄物の取り扱い	講義 DVD視聴	有	和田
14	7.　滅菌物の取り扱い・ガウンテクニック (個人防御用具)	演習 技術試験	演習要項 評価表	担当教員
15	試験	試験	無	和田

〈　評　価　〉

技術試験5割、筆記試験4割、授業態度・出席状況1割を総合して評価する。
ただし、筆記試験・技術試験においてはそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・任和子編集：系統看護学講座専門分野　基礎看護学[3]基礎看護学技術Ⅱ[電子版],医学書院.
・医療情報科学研究所：看護がみえる vol.1,基礎看護技術,第1版,メディックメディア,368ｐ,2018.

専門分野 基礎看護学	授業科目	生活援助論Ⅱ	1年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	山口　理恵		
科目目標 概　　要	人間にとっての活動と休息の意義を理解し、ボディメカニクスを活用した移動の基礎的援助技術を習得する。また、身体の清潔の意義を理解し、清潔援助を習得する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	活動と休息 1. 活動の意義について 2. ボディメカニクスの原則 3. 睡眠について 4. 援助の実際：温罨法・冷罨法・リラクゼーション法について	講義	有	山口
2	体位と体位変換 1. 体位の種類とポジショニングの基礎知識	講義 演習	有	山口
3	体位と体位変換 2. ベッド上の患者移動	演習	有	山口
4	移動と移乗の実際 1. 安全に介助するための基礎知識 小テスト	講義	有	山口
5	体位変換、移動と移乗の実践 1. 体位変換 2. 車椅子・ストレッチャー	演習	有	担当教員
6	身体の清潔の意義、清潔援助の基礎知識	講義	有	山口
7	清潔援助の実際：整容・口腔ケア・洗髪・足浴	講義	有	山口
8･9	清潔援助の実際：洗髪・足浴 技術試験	演習	有	担当教員
10	清潔援助の実際：入浴シャワー浴の介助・全身清拭	講義	有	山口
11	清潔援助の実際：全身清拭	講義	無	山口
12	清潔援助の実際：全身清拭演習（プレテスト）	演習	無	担当教員
13	衣生活の援助：寝衣交換、輸液ラインが入っている場合の留意点 小テスト	講義 演習	有	山口
14･15	清潔援助の実際：全身清拭	実技 試験	無	担当教員

〈　評　価　〉

筆記試験4割（小テスト）、技術試験4割、提出物2割を総合して評価する。
ただし、筆記試験、技術試験においてそれぞれで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・任和子編集：系統的看護学講座専門分野 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ［電子版］, 医学書院.
・医療情報科学研究所：看護がみえる vol. 1, 基礎看護技術, 第1版, メディックメディア, 368 p , 2018.

専門分野 基礎看護学	授業科目	生活援助論Ⅲ	1年次後期　1単位　30時間
科目担当責任者	加藤　恵		
科目目標 概　　要	栄養と排泄の意義を理解し、対象の生活習慣や生活背景を考慮した安全・安楽な援助方法を習得する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	栄養と食事に関する基礎知識	講義	有	加藤
2	栄養状態のアセスメント	講義	有	管理栄養士
3	経口摂取が可能な人の食事摂取の介助(食事内容・環境の調整：食欲への援助、摂食動作への援助)	講義	有	加藤
4	経口摂取が可能な人の食事摂取の介助：食事介助演習	演習	有	加藤
5	摂食・嚥下訓練	講義	有	加藤
6	摂食・嚥下訓練：食前の準備体操と口腔ケア演習	演習	有	担当教員
7	非経口的栄養摂取の援助(経管栄養法、中心静脈栄養法)	講義	有	加藤
8･9	非経口的栄養摂取の援助：胃管挿入、栄養物注入演習	演習	有	担当教員
10	排泄の基礎知識 (排泄の意義、排泄器官の機能とメカニズム)	講義	有	加藤
11	排泄の基礎知識(アセスメント)	講義	有	加藤
12	自然排泄の介助の実際	講義	有	加藤
13	自然排泄の介助の実際： ポータブルトイレ・床上排泄援助	演習	有	担当教員
14	排泄障害と看護(導尿・浣腸・摘便)	講義	有	加藤
15	試験	試験	無	加藤

〈　評　価　〉

筆記試験(7 割)、演習態度及びレポート(3 割)で総合評価する。
ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・任和子編集：系統看護学講座専門分野 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ[電子版],医学書院.
・医療情報科学研究所：看護がみえる vol.1 基礎看護技術,第 1 版,東京,メディックメディア,368p,2018.
・医療情報科学研究所：看護がみえる vol.2 臨床看護技術,第 1 版,東京,メディックメディア,352p,2018.

専門分野 基礎看護学	授業科目	診療の補助技術	1年次後期　1単位　30時間
科目担当責任者	和田　裕子　　鈴木　愛		
科目目標 概　　要	1.診療の補助行為に関わる援助の方法の基本について学ぶ。 2.検査や薬物療法、創傷管理が必要な対象者が安全に検査・治療を受け、療養生活を送ることができるための方法を学ぶ。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	診療に伴う看護 1.検査・治療における看護師の役割	講義	有	和田
2	治療・処置に伴う援助技術 1.検査の意義と看護師の役割 2.検査時の種類と実施時の留意点	講義	有	和田
3	治療・処置に伴う援助技術 3.検査の方法(検査の概要と看護) 4.侵襲的処置の介助技術	講義	有	和田
4	治療・処置に伴う援助技術 5.採血・12誘導心電図	講義 演習	有	和田
5	与薬の技術 1.与薬の基礎知識	講義	有	鈴木
6	2.経口与薬	講義	有	鈴木
7	3.注射	講義	有	鈴木
8	4.その他の与薬方法	講義	有	鈴木
9	5.輸血管理 6.注射援助技術	講義 演習	有	鈴木
10･11	ミキシング・注射(皮下注射・筋肉注射)・採血演習	演習	有	担当教員
12	創傷管理技術 1.創傷管理の基礎知識と創傷処置	講義	有	和田
13	創傷管理技術 2.包帯法	講義	有	和田
14	滅菌物の取り扱い・創傷処置・包帯法の技術	演習	有	担当教員
15	試験	試験	無	和田

〈　評　価　〉

筆記試験(7 割)、演習(2 割)、授業・演習の参加態度・出席状況(1 割)を総合して評価する。
ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

･任和子編集：系統看護学講座専門分野 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ[電子版],医学書院.
･奈良信雄：系統看護学講座別巻 臨床検査,第8 版,東京,医学書院,388p,2019.
･医療情報科学研究所：看護がみえる vol.1 基礎看護技術,第 1 版,東京,メディックメディア,368p,2018.
･医療情報科学研究所：看護がみえる vol.2 臨床看護技術,第 1 版,東京,メディックメディア,352p,2018.

専門分野 基礎看護学	授業科目名	看護技術演習	2年次前後期　1単位　15時間
科目担当責任者	和田　裕子　　北川　裕子		
科目目標 概　　要	1.健康に生きることを支える学習支援の意義が理解でき、対象のライフステージに合わせた、教育方法を考えることができる。 2.対象の状況から看護の必要性を総合的に判断し、状況に合わせた援助が考えられる。 3.基礎的援助技術を、原理･原則に基づいて安全･安楽に実践できる。 4.援助を受ける対象の心理を理解し、対象を尊重した援助ができる。 5.他者と協力し、主体的に学習目標を意識した取り組みができる。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	Ⅰ　健康教育 1.学習支援の意義と方法 2.学習支援の実際	講義	有	和田
2･3	3.各ライフステージの健康課題への援助 1)成人　2)老年　3)小児 健康教育の計画立案	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	担当教員
4	2)健康教育の実施と評価	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	担当教員
5	Ⅱ　日常生活援助技術演習 1.点滴静脈注射・膀胱内留置カテーテルを挿入している臥床患者のリネン･寝衣交換 1)特殊性や個別性にあわせた援助計画の立案① (マニュアル作成)	ﾍﾟｱﾜｰｸ	有	北川
6	2)援助計画の実施(プレテスト) (1)患者に合わせた説明 (2)安全･安楽の確保 (3)プライバシーへの配慮 3)援助計画の追加･修正	ﾍﾟｱﾜｰｸ ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 演習	有	担当教員
7･8	4)演習	演習	有	担当教員

〈　評　価　〉

技術試験6割(Ⅱ60点)、記録物(Ⅰ30点、Ⅱ10点)で、総合評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

･任和子：系統看護学講座専門分野 基礎看護学[3]基礎看護学技術Ⅱ[電子版],医学書院.
･香春知永：系統看護学講座専門分野 基礎看護学[4]臨床看護総論[電子版],医学書院.
･医療情報科学研究所：看護がみえる　vol.2　臨床看護技術,第1版,東京,メディックメディア,352p,2018.

専門分野 地域･在宅看護論	授業科目	健康と暮らしを支える看護	1年次後期　1単位　30時間
科目担当責者	野田　孝子		
科目目標 概　　要	地域・在宅看護を取り巻く社会と地域で生活する人々の暮らしを学ぶ 1. 地域での「暮らし」について理解することができる 2. 地域のコミュニティー・リソースを調べ、看護を提供するさまざまな場について理解することができる 3. 地域で暮らす人々への看護の役割を考えることができる		

回	内　容	形態	資料	担当講師
1	社会の変化と地域・在宅看護の意義	講義	有	野田
2	人々の暮らしの理解：自分と友人　＊ワークシート	講義・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	野田
3	人々の暮らしの理解：家族　　＊ワークシート	講義・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	野田
4	暮らしと地域のかかわり：地域と人々の多様性	講義	有	市役所職員
5	暮らしと地域のかかわり：地域を支える人々①	講話	有	民生委員
9	暮らしと地域のかかわり：地域を支える人々②	講義	有	社会福祉協議会
7	地域・在宅看護が提供される場　いきいき広場	演習	有	野田
8	地域・在宅看護が提供される場　いきいき広場	レポート	有	野田
9	人々の暮らしの理解：地域資源　　＊ワークシート	講義	有	野田
10	地域包括ケアの実際：ココルクえべつ	施設見学	有	野田
11	地域包括ケアの実際：ココルクえべつ	施設見学	有	野田
12	地域で暮らし続けるために必要なこと	レポート	有	野田
13	事例で考える「地域」でその人らしく暮らすために活用できる地域資源	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	野田
14	地域で暮らす人々への看護の役割	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	野田
15	地域で暮らす人々への看護の役割	ポスター発表	有	野田

〈　評　　価　〉

ワークシート3割　　レポート4割　ポスター発表3割 で総合評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

･河原加代子：系統看護学講座　地域･在宅看護の基盤　地域･在宅看護論①[電子版],医学書院.

･河原加代子：系統看護学講座　地域･在宅看護の実践　地域･在宅看護論②[電子版],医学書院.

･押川真喜子:新訂版 写真でわかる訪問看護アドバンス[Web動画付][電子版],インターメディカ.

専門分野 地域･在宅看護論	授業科目	地域・在宅看護の基礎	1年次後期　1単位　30時間
科目担当責任者	野田　孝子		
科目目標 概　　要	地域・在宅看護に関わる制度を理解し、マネジメントの実際から、地域包括ケアシステムと看護師の役割を学ぶ 1.地域包括ケアシステムの意義と概念を理解する 2.地域・在宅看護に関わる制度を理解することができる 3.多職種が協働することの必要性を理解することができる		

回	内容	形態	資料	担当講師
1	地域包括ケアと自助・互助・共助・公助	講義	有	野田
2	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用① 介護保険・医療保険制度	講義	有	精神保健福祉士
3	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用② 介護保険・医療保険制度	講義	有	精神保健福祉士
4	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用③ 訪問看護に関わる制度	講義	有	訪問看護ST
5	地域に暮らす対象者の理解と看護：人々の健康と予防	講義	有	保健師
6	地域･在宅看護実践の場と多職種連携①：地域包括支援センターとケアマネージャーの役割	講義	有	ケアマネージャー
7	地域・在宅看護実践の場と多職種連携②：訪問診療	講義	有	木村
8	地域･在宅看護実践の場と多職種連携③：ネットワークづくりと看護師の役割	講義	有	地域医療連携室 石田
9	地域･在宅看護実践の場と多職種連携④：チームでの協働（家族支援を含む）	講義	有	地域包括ケア病棟 若狭
10	地域・在宅看護実践の場と多職種連携⑤：退院支援・退院調整	講義	有	地域医療連携室 松崎
11	地域・在宅看護実践の場と多職種連携⑥：生活保護・権利擁護・自立支援	講義	有	社会福祉士
12	地域包括ケアシステムを支える看護師の役割	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	野田
13	まとめ:地域包括ケアシステムを支える看護師の役割	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	野田
14	発表：地域包括ケアシステムを支える看護師の役割	レポート	有	野田
15	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験8割、レポート2割で総合評価する

〈　テキストおよび参考文献　〉

･河原加代子：系統看護学講座　地域･在宅看護の基盤　地域･在宅看護論①[電子版],医学書院.

･河原加代子：系統看護学講座　地域･在宅看護の実践　地域･在宅看護論②[電子版],医学書院.

･押川真喜子:新訂版 写真でわかる訪問看護アドバンス[Web動画付][電子版],インターメディカ.

専門分野 地域･在宅看護論	授業科目	在宅における医療処置と看護	2年次前期　1単位　15時間
科目担当責任者	田尻　美紀		
科目目標 概　　要	暮らしの場で行われる治療・処置と各専門領域で展開される看護の実際を学ぶ 1.地域・在宅における医療ケアの管理と看護の実際を理解できる 2.医療処置を受けながら安全に在宅生活を送るための注意点が理解できる		

回	内容	形態	資料	担当講師
1	地域･在宅看護における対象者の安全をまもる看護	講義	有	訪問看護ST久保
2	呼吸に関する地域・在宅看護技術 1）在宅酸素療法 2）非侵襲的陽圧換気療法 3）呼吸リハビリテーション	講義・演習	有	慢性呼吸器疾患看護認定看護師：能見
3	栄養に関する地域・在宅看護技術 1）経管栄養法（胃瘻法） 2）在宅中心静脈栄養法	講義・演習	有	訪問看護ST久保、田尻
4	排泄に関する地域・在宅看護技術 1）膀胱留置カテーテルの管理 2）間欠導尿	講義・演習	有	訪問看護ST久保、田尻
5	苦痛の緩和に関する地域・在宅看護技術 1）在宅療養者の外来がん治療 2）疼痛管理	講義	有	がん化学療養認定看護師：高橋
6	在宅におけるストーマ管理 1）皮膚の観察 2）外用薬の塗布	講義・演習	有	訪問看護ST久保、田尻
7	活動に関する地域・在宅看護技術 　在宅におけるキネステティック･褥瘡予防ケア	講義・演習	有	藤井・田尻
8	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験9割、授業の参加態度1割で総合評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

･河原加代子：系統看護学講座　地域･在宅看護の基盤　地域･在宅看護論①[電子版],医学書院.

･河原加代子：系統看護学講座　地域･在宅看護の実践　地域･在宅看護論②[電子版],医学書院.

･押川真喜子:新訂版 写真でわかる訪問看護アドバンス[Web動画付][電子版],インターメディカ.

専門分野 地域･在宅看護論	授業科目	地域・在宅看護の展開	2 年次前期　1 単位　30 時間
科目担当責任者	田尻　美紀		
科目目標 概　　要	在宅で療養生活を送る人の病期・病態・障害に応じた看護の実際を学ぶ 1.外来・入院・施設など療養の場の移行に伴う看護について理解できる 2.地域在宅療養者の病態・障害の特性に応じた看護が理解できる 3.訪問看護における援助関係の基本を理解できる		

回	内容	形態	資料	担当講師
1	入院時・在宅療養準備期（退院前）の看護	講義	有	在宅・入退院 支援係看護師
2	看護外来における看護の実際（ACP）	講義	有	看護専門外来 看護師
3	看護外来における看護の実際（ACP）：事例展開	講義	有	
4	脳卒中の療養者に対する地域・在宅看護：退院調整	講義	有	脳卒中リハビリ テーション看護 認定看護師
5	脳卒中の療養者に対する地域・在宅看護：事例展開	講義	有	
6	ALS で人工呼吸療法を実施する療養者に対する地域・在宅看護：退院調整と事例展開	講義	有	
7	パーキンソン病療養者の地域･在宅看護：退院調整と事例展開	講義	有	
8	脊髄損傷の療養者に対する地域・在宅看護 ：退院調整と事例展開	講義	有	北海道脊損 センター看護師
9	医療的ケア児に対する地域・在宅看護：退院調整	講義	有	子ども在宅ｹｱﾈｯﾄﾜｰｸ代表 御家瀬
10	医療的ケア児に対する地域・在宅看護：事例展開	講義	有	
11	終末期の療養者の地域・在宅看護：退院調整	講義	有	緩和ケア 認定看護師
12	在宅療養を支える訪問看護サービスの展開	講義	有	訪問看護 ST 久保
13	訪問看護における援助関係の基本の理解：初回訪問①	講義	有	田尻
14	健康になるための力を引き出す対話・コミュニケーション 訪問看護における援助関係の基本の理解：初回訪問②	演習	有	田尻
15	試験	試験	無	田尻

〈　評　　価　〉

筆記試験 9 割、授業の参加態度 1 割で総合評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

･河原加代子：系統看護学講座　地域･在宅看護の基盤　地域･在宅看護論①[電子版],医学書院.

･河原加代子：系統看護学講座　地域･在宅看護の実践　地域･在宅看護論②[電子版],医学書院.

･押川真喜子:新訂版 写真でわかる訪問看護アドバンス[Web 動画付][電子版],インターメディカ.

専門分野 地域･在宅看護論	授業科目	地域包括支援と多職種連携	2年次後期　1単位　15時間
科目担当責任者	野田　孝子		
科目目標 概　　要	事例・共同学習を通して、多職種連との協働の必要性を理解し相互理解を深める。また、多職種連携における看護師の役割を学ぶ。 1.事例を通して、多職種との連携・協働のあり方を他職種の学生と考えることができる。 2.事例を通して、それぞれの職種の役割と看護師の役割を考えることができる。		

回	内容	形態	資料	担当講師
1	地域包括支援の実際 （専門職連携教育プログラム：ＩＰＥを含む）	講義	有	野田
2	事例展開:訪問リハビリテーション（　講話　）	講義	有	作業療法士 小野寺
3	事例展開:訪問リハビリテーション（　ワーク①　） パーキンソン病の療養者	演習	有	作業療法士 小野寺
4	事例展開多職種連携：多職種を学ぶ学生との共同学習 事例展開	講義	有	野田
5	多職種連携：多職種を学ぶ学生との共同学習 事例展開（ワーク②）	演習	有	野田
6	多職種連携：多職種を学ぶ学生との共同学習 事例発表（ワーク③）	演習	有	野田
7	地域包括支援と多職種連携：合同カンファレンス	講義・演習	有	野田
8	地域包括支援と多職種連携：合同カンファレンス（ワーク④）	演習	有	野田

〈　評　　価　〉

課題（ワーク①②③④　各20点）8割、　授業の参加態度・発表態度2割で総合評価する

〈　テキストおよび参考文献　〉

･河原加代子：系統看護学講座　地域･在宅看護の基盤　地域･在宅看護論①[電子版],医学書院.

･河原加代子：系統看護学講座　地域･在宅看護の実践　地域･在宅看護論②[電子版],医学書院.

･押川真喜子:新訂版 写真でわかる訪問看護アドバンス[Web動画付][電子版],インターメディカ.

専門分野 地域･在宅看護論	授業科目	地域・在宅看護過程の展開	2年次後期　1単位　15時間
科目担当責任者	野田　孝子		
科目目標 概　　要	療養者と家族の望む生活の実現にむけた看護過程と臨床判断の実際を学ぶ 1.パートナーシップに基づいた対象と家族への支援を実践（ロールプレイ）できる 2.病態の変化に気付き、適切な臨床判断を行うことができる 3.対象と家族に関わる職種との連携・協働について考えることができる		

回	内容	形態	資料	担当講師
1	在宅における看護過程　　ICF	講義	有	野田
2	在宅における看護過程　　同行記録	講義	有	野田
3	在宅における臨床判断	講義	有	野田
4	在宅における臨床判断　　事例展開	演習	有	野田
5	在宅における臨床判断　　事例展開	演習	有	野田
6	ロールプレイ	演習	有	野田
7	ロールプレイ	演習	有	野田
8	個人ワーク・筆記試験	試験	無	野田

〈　評　　価　〉

ワークシート4割、筆記試験5割　演習の参加態度1割で総合評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

･河原加代子：系統看護学講座　地域･在宅看護の基盤　地域･在宅看護論①[電子版],医学書院.

･河原加代子：系統看護学講座　地域･在宅看護の実践　地域･在宅看護論②[電子版],医学書院.

･押川真喜子:新訂版 写真でわかる訪問看護アドバンス[Web動画付][電子版],インターメディカ.

専門分野 成人看護学	授業科目	成人看護の基礎	1年次前後期　1単位　30時間
科目担当責任者	戸田　悦子		
科目目標 概　　要	1.発達段階における成人期の特徴と発達課題について理解する。 2.成人期に特徴的な健康問題とその動向について理解する。 3.看護に有用な理論･概念を学び成人期の対象や看護アセスメントへの活用を考察する。 4.成人期の対象の多様な価値観を尊重する態度を身につける。 5.成人期の対象の多様な価値観に対応する協働の効果と必要性を理解する。 6.課題への取り組みを通して、問題解決思考を身につける。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	成人看護の役割と意義　連携する他職種の理解	講義・演習	有	戸田
2	成人期にある対象の理解	講義・演習	有	戸田
3	成人の生活と健康課題	講義・演習	有	戸田
4	成人の健康を維持・増進する看護	講義・演習	有	戸田
5	1）生活習慣と疾病　2）職業性疾病とストレス	講義・演習	有	戸田
6	成人保健の動向と予防活動	講義・演習	有	戸田
7	1）生活習慣病の現状と課題の理解	講義・演習	有	戸田
8	2）死亡原因の変化と生活習慣病の関連の理解	講義・演習	有	戸田
9	3）健康を維持・増進する為の提案	講義・演習	有	戸田
10	成人看護に有用な理論	講義・演習	有	戸田
11	1）自己効力理論　2）成人教育学	講義・演習	有	戸田
12	多様な価値観と健康観	講義・演習	有	戸田
13	多様なセクシュアリティを支える看護	講義・演習	有	舘山
14	健康を維持・増進する為の提案書の発表	演習	有	戸田
15	健康を維持・増進する為の提案書の発表	演習	有	戸田

〈　評　　価　〉

筆記試験 50%(講義内で小テストを実施)、提出物 50%（課題の提出状況と内容の完成度）を総合して評価

〈　テキスト　〉

･小松浩子ほか：系統看護学講座 専門分野 成人看護学1 成人看護学総論[電子版],医学書院.

専門分野 成人看護学	授業科目	リハビリテーション看護	1年次後期　1単位　30時間
科目担当責任者	金森　ちひろ　　東條　奈穂		
科目目標 概　　要	1.身体構造上の機能障害を持つ成人期の対象の身体的・精神的・社会的特徴を理解する。 2.身体構造上の機能障害による健康課題とその特徴について理解する。 3.中途障害によって身体構造上の機能が障害された成人期の対象の障害受容を支える看護を理解する。 4.身体構造上の機能障害を持つ成人期の対象を支援するチームと、その中での看護師の役割を理解する。 5.課題への取り組みを通して、問題解決能力を身につける。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	リハビリテーション看護の定義と重要な概念	講義	有	金森
2	リハビリテーション看護におけるアセスメントとチーム・アプローチ	講義	有	理学療法士
3	障害受容過程を支援する上で有用な理論	講義・演習	有	金森
4	中枢神経系の障害とリハビリテーション看護① (ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ)	講義・演習	有	脳卒中ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ認定看護師
5	②高次脳機能障害とリハビリテーション	講義・演習	有	
6	③脳卒中によって麻痺が生じた人の援助　車椅子移乗	講義・演習	有	
7	④生活を再構築する為の看護とは　摂食・嚥下障害	講義・演習	有	摂食・嚥下障害看護認定看護師
8	⑤言語障害とリハビリテーション	講義・演習	有	言語聴覚士
9	⑥脳死判定とその看護	講義・演習	有	金森
10	感覚器系の障害とリハビリテーション看護	講義・演習	有	金森
11	運動機能の障害とリハビリテーション看護① (ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ)	講義・演習	有	金森
12	②骨折の治療とリハビリテーション看護（ROM）	講義・演習	有	金森
13	③脊髄損傷の治療とリハビリテーション看護 （事例展開）	講義・演習	有	金森
14	④脊髄損傷の治療とリハビリテーション看護	講義・演習	有	金森
15	⑤脊髄損傷の治療とリハビリテーション看護	講義・演習	有	金森

〈　評　　価　〉

筆記試験80%、提出物20%（課題の提出状況と内容の完成度）を総合して評価

〈　テキストおよび参考文献　〉

・武田宜子ほか：系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護[電子版],医学書院.

このほかのテキストは必要時に説明する

専門分野 成人看護学	授業科目	セルフマネジメントを支援する看護	2年次前期 1単位　30時間
科目担当責任者	北川　裕子		
科目目標 概　　要	1. セルフマネジメントが必要な、成人期にある対象と支援者の身体的・精神的・社会的 特徴を理解する。 2. セルフマネジメントが必要な、成人期にある対象が自身の療養を管理できるよう導くための看護を理解する。 3. 成人学習者の特徴を理解し、セルフマネジメントを支援する看護について理解する。 4. セルフマネジメントを支援するチームとその中での看護師の役割を理解する。 5. 成人期にある対象の健康問題に、ともに対処する態度を養う。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	セルフマネジメントの構成要素と主要概念	講義・演習	有	北川
2	成人教育学と成人教育の特徴	講義・演習	有	北川
3	エンパワメントモデルと自己効力理論	講義・演習	有	北川
4	対象理解と援助方法、評価の実際	講義・演習	有	北川
5	セルフマネジメントを目指す看護の実際　肝硬変①	講義・演習	有	北川
6	肝硬変②	講義・演習	有	北川
7	セルフマネジメントを目指す看護の実際　腎不全①	講義・演習	有	山内
8	腎不全②	講義・演習	有	小笠原
9	セルフマネジメントを目指す看護の実際　糖尿病①	講義・演習	有	糖尿病看護認定看護師
10	糖尿病②	講義・演習	有	
11	セルフマネジメントを目指す対象の看護展開①(糖尿病)	講義・演習	有	北川
12	②　理論を活用した学習援助の計画	講義・演習	有	北川
13	③　SMBG とインスリン注射	講義・演習	有	北川
14	④　ロールプレイ　実践評価とリフレクション	講義・演習	有	北川
15	試験	試験	無	北川

〈　評　　価　〉

筆記試験 70%　提出物 30%(課題の提出状況と内容の完成度)を総合して評価する

〈　テキストおよび参考文献　〉

・安酸史子ほか(編)：ﾅｰｼﾝｸﾞ・ｸﾞﾗﾌｨｶ成人看護学③セルフマネジメント, 第 4 版, 大阪, ﾒﾃﾞｨｶ出版, 272p, 2022.

・医療情報科学研究所：看護がみえる　vol.2　臨床看護技術, 第 1 版, 東京, メディックメディア, 352p, 2018.　このほかのテキストは必要時に説明する

専門分野 成人看護学	授業科目	クリティカルケア看護	2 年次前期 1 単位　30 時間
科目担当責任者	東條　奈穂		
科目目標 概　　要	1. クリティカルケアが必要な成人期の対象とその家族の身体的・精神的・社会的特徴を理解する。 2. クリティカルケアが必要な成人期の対象の健康課題とその特徴について理解する。 3. クリティカルケアが必要な成人期の対象の回復過程を促進する看護を理解する。 4. クリティカルケアが必要な成人期の対象を支援するチームと看護師の役割を理解する。 5. 課題への取り組みを通して、問題解決能力を身につける。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	クリティカルケア看護の特性と対象、その家族の特徴	講義・演習	有	東條
2	クリティカルな対象の病態の理解と看護①	講義・演習	有	東條
3	②過大侵襲を受けた対象の生体反応	講義・演習	有	東條
4	救急看護の対象と主要病態に対する看護①	講義・演習	有	東條
5	②意識障害とショックの対応	講義・演習	有	東條
6	③熱中症　熱傷	講義・演習	有	東條
7	④ＢＬＳ	演習	無	救急看護認定看護師
8	クリティカルケア看護に必要な看護技術①（鎮静鎮痛管理）	講義・演習	有	東條
9	②呼吸・循環機能障害に対する看護(人工呼吸器、酸素療法)	講義・演習	有	東條
10	③感染予防対策と創傷管理　ドレーンの管理	講義・演習	有	東條
11	クリティカルケア看護に有用な理論	講義・演習	有	東條
12	クリティカルケア看護と倫理	講義・演習	有	集中ケア認定看護師
13	クリティカルな状態にある人の看護展開①	講義・演習	有	東條
14	②術前・術中・術後の看護（ｸﾘﾃｨｶﾙｹｱ看護とチーム医療）	講義・演習	有	集中ケア認定看護師
15	③早期離床	講義・演習	有	東條

〈　評　　価　〉

筆記試験 40%(講義内で小テストを実施)、提出物 60%（課題の提出状況と内容の完成度）を総合して評価

〈　テキストおよび参考文献　〉

・山勢博彰ほか：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学[電子版],医学書院.

・矢永勝彦ほか：系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論[電子版],医学書院.

・北島政樹ほか：系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論[電子版],医学書院.

このほかのテキストは必要時に説明する

専門分野 成人看護学	授業科目	終末期看護	2年次後期　1単位　30時間
科目担当責任者	槙　麻夕子		
科目目標 概　　要	終末期看護を中心に、がん患者を含む緩和ケアが必要な対象の看護を理解する内容とする。看護に必要となる「死にゆく過程」やスピリチュアルケアについても学ぶ。 目標 1）終末期看護、緩和ケアの概要と緩和ケアの広がりに伴う看護の役割を理解する 目標 2）がん患者の特徴及び治療の概要と看護について理解する 目標 3）死生観を養う		

回	内容	形態	資料	講師名
1	命と命の終わりについて、緩和ケアの現状と定義	講義	有	槙
2	緩和ケアにおけるチームアプローチとコミュニケーション	講義	有	槙
3	緩和ケアにおける倫理的課題	講義	有	槙
4	緩和ケアの広がりとストレスマネジメント マインドフルネス	講義	有	槙
5	QOL を支える全人的ケアの実際 1)身体的ケアと日常生活を支えるケア	講義	有	緩和ケア認定看護師 森井・野々宮
6	2)心理社会的ケア、スピリチュアルケア	講義	有	
7	臨死期のケア、家族ケア	講義	有	
8	緩和ケアにおける口腔ケア	講義	有	摂食・嚥下障害看護認定看護師　島本
9	がんを取り巻く状況とがん患者の特徴	講義	有	がん化学療法看護認定看護師　高橋
10	がんの病態と臨床経過	講義	有	
11	がん治療に対する看護（特徴と概要）	講義	有	
12	がん治療に対する看護（肺癌患者を例として考える）	講義	有	
13	がんの治療の場と看護、チームアプローチの実際	講義	有	
14	がん治療に対する看護（特に化学療法について）	講義	有	がん化学療法看護認定看護師　佐藤
15	もしバナゲーム・試験	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		槙

〈　評　　価　〉
筆記試験 90%、提出物 10%を総合して評価

〈　テキストおよび参考文献　〉
・恒藤暁・田村恵子：系統看護学講座 別巻 緩和ケア[電子版],医学書院.
・小松浩子他：系統看護学講座 別巻 がん看護学［電子版],医学書院.
このほかのテキストは必要時に説明する

専門分野 成人看護学	授業科目	成人看護過程の展開	2年次後期1単位30時間
科目担当責任者	亀井　聡子		
科目目標 概　　要	1. 模擬事例を通して成人期の対象を統合的に理解し、科学的根拠に基づいて必要な看護を理解する。 2. 手術により健康危機状況にある成人期の対象に起こりえる2次的障害の予防と回復促進に向けた看護を理解する。 3. 既習の知識を生かして、主体的に看護診断過程を展開する能力を身につける。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	演習要項説明、演習事例提示、小テスト	講義	有	亀井
2	看護診断過程演習　① 情報収集（基本情報シート）	講義 演習	無	担当教員
3	② 仮の看護診断の決定（ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽｼｰﾄ）	演習	無	担当教員
4	③ 仮の看護診断の決定（ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽｼｰﾄ）	演習	無	担当教員
5	④ 仮の看護診断の決定（ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽｼｰﾄ）	演習	無	担当教員
6	⑤ 看護診断の原因・誘因の分析（ﾌｫｰｶｽｱｾｽﾒﾝﾄｼｰﾄ1）	演習	無	担当教員
7	⑥ 看護診断の原因・誘因の分析（ﾌｫｰｶｽｱｾｽﾒﾝﾄｼｰﾄ1）	演習	無	担当教員
8	⑦ 発達段階と病理的状態の分析（ﾌｫｰｶｽｱｾｽﾒﾝﾄｼｰﾄ2①、3①）	演習	無	担当教員
9	⑧ 発達段階と病理的状態の分析（ﾌｫｰｶｽｱｾｽﾒﾝﾄｼｰﾄ2①、3①）	演習	無	担当教員
10	⑨ 全体像の把握（病態関連図、看護診断リスト）、看護計画の立案	演習	無	担当教員
11	⑩ 看護計画の立案	演習	無	担当教員
12	⑪ 看護計画の立案	演習	無	担当教員
13 14	周術期の看護の実際（術後1日目のフィジカルアセスメント）	演習	無	担当教員
15	⑫ 看護実践の評価	演習	有	集中ケア 認定看護師

〈　評　　価　〉演習評価表（9割）、小テスト（1割）を総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・マージョリー・ゴードン：ゴードン看護診断マニュアル,原書第11版,東京,医学書院,386p,2010.
・医療情報科学研究所：看護が見えるVol.4,看護過程の展開,東京,メディックメディア,380p,2020.
・小松浩子他：系統看護学講座　専門分野　成人看護学1　成人看護学総論[電子版],医学書院.
・香春知永他：系統看護学講座　専門分野基礎看護学[4]臨床看護総論[電子版],医学書院.
・山勢博彰他：系統看護学講座　別巻　ｸﾘﾃｨｶﾙｹｱ看護学[電子版],医学書院.
・矢永勝彦他：系統看護学講座　別巻　臨床外科看護総論[電子版],医学書院.
・北島政樹他：系統看護学講座　別巻　臨床外科看護各論[電子版],医学書院.
・小松浩子：系統看護学講座　別巻　がん看護学[電子版],医学書院.
・田中越郎：系統看護学講座　専門基礎分野　疾病の成り立ちと回復の促進[2]病態生理学[電子版],医学書院.
・坂井建雄：系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能[1]解剖生理学[電子版],医学書院.

この他、看護診断の講義で使用したテキストを使用する。上記以外のテキストについては必要時提示する。

専門分野 老年看護学	授業科目	老年看護の基礎	1年次前後期　1単位　30時間
科目担当責任者	槙　麻夕子		
科目目標 概　　要	高齢者の理解を深め、ヘルスアセスメントや加齢に伴うフレイル･老年症候群について理解し対象理解に役立つ内容とする。 目標 1）老年期と高齢者について学び理解を深める。 目標 2）高齢者のヘルスアセアセスメントについて理解する。 目標 3）フレイル･老年症候群について理解する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	高齢者のイメージの明確化、高齢者の特徴と理解 （加齢に伴う身体･心理･社会的変化）	対面授業	有	槙
2	老年期の発達課題、老年看護のなりたちと役割	対面授業	有	槙
3	老年看護における理論･概念 高齢者のヘルスアセスメントの基本	対面授業	有	槙
4	加齢変化と身体機能（生理機能）のアセスメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	槙
5	加齢変化と身体機能（生理機能）のアセスメント	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	槙
6	高齢者とのコミュニケーション	講義	有	槙
7	高齢者の社会参加、高齢者とセクシュアリティ	講義	有	槙
8	高齢者疑似体験	演習	有	槙
9	わが国の超高齢社会の統計的輪郭	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	槙
10	わが国の超高齢社会の統計的輪郭	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	槙
11･12	地域で健康的に生活している高齢者の理解 （砂川市高齢者軽スポーツフェスティバルの見学･参加）	地域演習	有	槙
13	老年症候群とフレイル、廃用症候群予防	講義	有	槙
14	褥瘡･スキンテアとケア計画（失禁のケアも含む）	講義	有	皮膚･排泄ケア 看護認定看護師
15	まとめ、試験	試験	無	槙

〈評価〉

筆記試験（8 割）演習態度及びレポート評価（2 割）で総合評価する

ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない

〈　テキストおよび参考文献　〉

･北川公子他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学[電子版],医学書院.

･鳥羽研二他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護病態･疾患論[電子版],医学書院.

専門分野 老年看護学	授業科目	高齢者の生活支援	2年次前期　1単位　15時間
科目担当責任者	更谷　周子		
科目目標 概　　要	生活行動モデルを基盤とした、もてる力に着目する高齢者ケアを理解する内容とする。 目標1）高齢者を生活者と捉え、生活機能の観点からアセスメントしQOLを支えるケアについて理解する。 目標2）おむつ交換、陰部洗浄の看護技術を習得する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	生活行動モデルを基盤とする高齢者のもてる力の着眼	講義	有	更谷
2	状態･状況に応じたコミュニケーション方法 ・視力・聴力・言語障害のある対象	講義	有	更谷
3	食生活を豊かにする食生活のアセスメントと支援	講義	有	更谷
4	排泄ケアの基本と排泄障害のアセスメント及びケア ・おむつ交換と陰部洗浄	講義 技術演習	有	更谷
5	清潔･身支度を整える意義とアセスメント及びケア ・整容、入浴介助、義歯の取り扱いと清潔ケア	講義	有	更谷
6	高齢者の生活リズムとアセスメント及びケア ・サーカディアンリズム、睡眠-覚醒	講義	有	更谷
7	高齢者の活動性と、維持･拡大に繋がる健康支援 高齢者のリハビリテーション（機能低下予防）	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	更谷
8	まとめ・試験	試験	無	更谷

〈評価〉

筆記試験筆記試験（8割）演習態度及びレポート評価（2割）で総合評価する

ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない

〈　テキストおよび参考文献　〉

･北川公子他：系統看護学講座 専門分野 老年看護学［電子版],医学書院.

･鳥羽研二他：系統看護学講座 専門分野 老年看護病態･疾患論[電子版],医学書院.

･山田律子･内ヶ島伸也編:生活機能からみた老年看護過程+病態･生活機能関連図,東京,医学書院,第4版,560p,2020.

専門分野 老年看護学	授業科目	老年看護の援助論	2年次前後期　1単位　30時間
科目担当責任者	槙　麻夕子		
担当教員	槙　麻夕子		
科目目標 概　　要	高齢者の健康逸脱から回復を促す看護及び倫理的課題について理解し、高齢者ケアの倫理的実践に役立つ内容とする。 目標 1）高齢者の主な健康障害（症候･疾患）及び治療の特徴と看護を理解する。 目標 2）エンドオブライフケアの概要を理解する。 目標 3）高齢者の権利擁護とリスクマネジメントを理解する。 目標 4）高齢者に多い認知機能障害（認知症、せん妄、うつ）を理解する。 目標 5）パーソン･センタード･ケアについて理解する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	認知機能障害のある高齢者の看護-うつ、せん妄	講義	有	急性重症患者 専門看護師
2	認知症の疾患と特徴（認知症スケール）	講義	有	老年看護 専門看護師
3	認知症高齢者とのコミュニケーション、食事援助	講義	有	
4	認知症高齢者とパーソン･センタード･ケア	講義	有	
5	認知症高齢者のケアの実際と多職種連携	講義	有	精神保健福祉士
6･7	認知症高齢者を支える介護者･家族へのケアを考える （認知症家族会とのグループ対談）	地域演習	有	更谷
8	高齢者の健康状態の把握と総合機能評価 高齢者に多い健康障害 ・慢性呼吸不全（呼吸法） ・高齢者の特徴（家族も）をふまえた指導の工夫	講義	有	田尻
9	身体疾患のある高齢者の看護	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	田尻
10	身体疾患のある高齢者の看護	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	田尻
11	治療を必要とする高齢者の看護（検査、薬物療法）	講義	有	槙
12	治療を必要とする高齢者の看護（手術、リハビリテーション、入院治療）とリスクマネジメント	講義	有	槙
13	エンドオブライフケア	講義	有	槙
14	高齢者の権利擁護と倫理的ケアを目指す検討	講義 個人ﾜｰｸ	有	槙
15	まとめ、試験	試験	無	槙

〈評価〉
筆記試験筆記試験（8割）演習態度及びレポート評価（2割）で総合評価する
ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない

〈　テキストおよび参考文献　〉

･北川公子他：系統看護学講座 専門分野 老年看護学［電子版］,医学書院.
･鳥羽研二他：系統看護学講座 専門分野 老年看護病態･疾患論［電子版］,医学書院.
･山田律子･内ヶ島伸也編:生活機能からみた老年看護過程+病態･生活機能関連図,東京,医学書院,第4版,560p,2020.
･宮坂道夫：系統看護学講座 別巻 看護倫理[電子版],医学書院.

専門分野 老年看護学	授業科目	老年看護の技術	3年次前期　1単位　15時間
科目担当責任者	槙　麻夕子		
科目目標 概　　要	臨床判断を活用して、事例高齢者の対象特性に応じた安全かつ残存機能に着目した老年看護技術の習得をめざす。また、ケア計画の思考過程を理解し、高齢者ケアの倫理的実践に役立つ内容とする 目標 1)高齢者の健康障害の特性について既習の知識と実践を繋げ、臨床判断を活用して問題解決に取り組むことができる 目標 2)加齢変化をふまえて事例対象のリスクアセスメントを行い、観察･ケアに活かす 目標 3)実践した看護技術についてリフレクションができる 目標 4)事例対象へのリスクマネジメントを理解できる。 目標 5)対象の生命力の消耗を最小にし、もてる力を発揮させるケア計画立案の思考過程が整理できる。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	事例提示：慢性期、誤嚥性肺炎の高齢対象 ：加齢変化をふまえた観察、フィジカルアセスメント ・状態からの気づきと分析的解釈（病態から考えられる根拠） ・優先すべき介入の決定	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	槙
2	事例対象の特性をふまえた膀胱留置カテーテル留置	技術演習	有	槙
3	事例の経過提示： ・状態からの気づきと分析的解釈（病態から考えられる根拠） ・リスクアセスメントによる観察点の明示とケア計画	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	槙
4	事例対象の特性をふまえた浣腸･摘便・陰部洗浄・おむつ交換、安全な体位変換	技術演習	有	槙
5	実践した看護技術のリフレクション 事例対象のリスクマネジメント ・誤認予防、転倒･転落予防 ・身体機能低下に応じたリスクと環境調整	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ (一部講義)	有	槙
6	対象の生命力の消耗を最小にしもてる力を発揮させるケア計画に向けた思考過程	講義	有	槙
7	回復システム発揮を目指すケア計画の検討と記録の活用法	講義 個人ﾜｰｸ	有	槙
8	まとめ			

〈評価〉

レポート及びパフォーマンス評価

〈　テキストおよび参考文献　〉

･山田律子･内ヶ島伸也編:生活機能からみた老年看護過程+病態･生活機能関連図, 東京, 医学書院, 第 4 版, 560p, 2020.

･金井一薫：新版ナイチンゲール看護論･入門, 第 1 版, 東京, 現代社, 277p, 2019.

そのほか、医学書院テキスト(系統看護学講座)、看護技術の参考図書を活用する

専門分野 小児看護学	授業科目	小児看護の基礎	1年次後期　1単位　30時間
科目担当責任者	鈴木　愛　　北川　裕子		
科目目標 概　　要	小児の発達段階(新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期、青年期)に応じた身体的・機能的特長、発育・発達の過程、健康課題を理解し、小児看護を展開するための基礎を学ぶ。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	Ⅰ　小児看護の役割 1. 小児とは　　2. 小児看護の変遷	講義	有	鈴木
2	3. 小児看護の課題　　4. 小児看護の役割と特徴	講義	有	鈴木
3	Ⅱ　小児の成長発達の原則 1. 成長発達とは　　2. 成長発達と理論	講義	有	鈴木
4	3. 成長発達の評価	講義	有	北川
5	Ⅲ　小児各期の成長発達と養育 1. 小児の成長発達①　新生児・乳児期	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	北川
6	1. 小児の成長発達②　幼児・学童	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	北川
7	1. 小児の成長発達③　思春期・青年期	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	北川
8	2. 小児各期の養育	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	北川
9	Ⅳ　小児におけるジェンダー	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	鈴木
10	Ⅴ　小児における家族理論	講義	有	鈴木
11	Ⅵ　小児における健康と理論	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	鈴木
12	Ⅶ　小児看護における倫理 1. 小児の権利	講義	有	小児看護 専門看護師 鶴
13	2. 小児と意思決定 3. 小児に対する権利の侵害	講義	有	
14	Ⅷ　小児と家族の諸統計と社会システム 1. 小児をめぐる諸統計 2. 小児を取り巻く環境 3. 小児の健康と社会システム	講義	有	鈴木
15	筆記試験	試験	無	鈴木

〈　評　価　〉

筆記試験7割、提出物およびグループワークの参加態度3割で総合評価する。

ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・奈良間美保他：系統看護学講座専門分野Ⅱ小児看護学[1]小児看護学概論小児臨床看護総論[電子版],医学書院.

専門分野 小児看護学	授業科目	小児看護の援助論Ⅰ	2年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	加藤　恵		
科目目標 概　　要	様々な健康レベル・発達段階にある小児と家族に対する看護の方法、生活援助・アセスメントのための看護技術、小児と家族をサポートする他職種を理解する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	Ⅰ　病気・障害をもつ小児と家族の看護①	講義	有	加藤
2	病気・障害をもつ小児と家族の看護②	講義	有	CLS 千葉
3	Ⅱ　小児の状況(環境)に特徴付けられる看護①	講義	有	加藤
4	②　退院を見据えた看護	講義	有	鶴
5	③　児童発達支援	講義	有	宮本
6	④　医療ケア付キャンプ	講義	有	北井
7	Ⅲ　小児における疾病の経過と看護 1.急性期 2.周手術期	講義	有	加藤
8	3.慢性期 4.終末期	講義	有	鶴
9	Ⅳ　発達障害のある小児と家族の看護	講義	有	野田
10	Ⅴ　小児のアセスメント 1.アセスメントに必要な技術	講義	有	加藤
11	Ⅵ　症状を示す小児の看護 1.脱水(発熱・下痢・嘔吐) 2.呼吸困難	講義	有	加藤
12	Ⅶ　検査処置を受ける小児の看護	講義	有	加藤
13 14	Ⅷ　小児の看護技術 1.身体的アセスメント 2.検査処置	演習	有	加藤
15	筆記試験	試験	無	加藤

〈　評　価　〉

筆記試験9割　提出物1割で総合評価する。
ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・奈良間美保他：系統看護学講座専門分野Ⅱ小児看護学[1]小児看護学概論小児臨床看護総論[電子版],医学書院.
・奈良間美保他：系統看護学講座専門分野Ⅱ小児看護学[2]小児臨床看護各論[電子版],医学書院.
・山元恵子：新訂第2版写真でわかる小児看護技術アドバンス(Web動画付)［電子版],インターメディカ.

専門分野 小児看護学	授業科目	小児看護の援助論Ⅱ	2年次後期　1単位　15時間
科目担当責任者	加藤　恵　　北川　裕子　　鈴木　愛		
科目目標 概　　要	様々な疾患や発達段階にある小児と家族に対する看護の方法を学ぶ。小児のセルフケアや苦痛緩和にむけた日常生活援助、小児と家族の理解を促すプレパレーションやディストラクションについて、演習(ロールプレイ)をしながら学びを深める。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	Ⅰ　染色体異常・胎内環境により発症する先天異常を持つ小児の看護	講義	有	鶴
2	Ⅱ　疾患を持つ小児の看護 1.扁桃摘出術の児と家族への看護　①	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	加藤
3	1.扁桃摘出術の児と家族への看護　②	演習	有	加藤
4	2.川崎病の児と家族への看護　①	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	鈴木
5	2.川崎病の児と家族への看護　②	演習	有	鈴木
6	3.ネフローゼ症候群の児と家族への看護　①	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	北川
7	3.ネフローゼ症候群の児と家族への看護　②	演習	有	北川
8	筆記試験	試験	無	加藤

〈　評　価　〉

筆記試験5割　提出物5割で総合評価する。

ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない

〈　テキストおよび参考文献　〉

・奈良間美保他：系統看護学講座専門分野Ⅱ小児看護学[1]小児看護学概論小児臨床看護総論[電子版],医学書院.

・奈良間美保他：系統看護学講座専門分野Ⅱ小児看護学[2]小児臨床看護各論[電子版],医学書院.

・浅野みどり・杉浦太一・大村知子：発達段階からみた 小児看護過程+病態関連図,第 4 版,東京,医学書院,768p,2021.

・茎津智子:発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程, 第 2 版, 東京, 医歯薬出版.146p, 2021.

・山元恵子：新訂第2版写真でわかる小児看護技術アドバンス[Web動画付] [電子版],インターメディカ.

専門分野 小児看護学	授業科目	小児看護過程の展開	2年次後期　1単位15時間
科目担当責任者	加藤　恵　　北川　裕子		
科目目標 概　　要	小児看護では表現がまだうまく出来ない小児に対し、解剖生理の特徴を踏まえた臨床判断が求められる。小児に慣れていない学生が実習でどんなことに気付き、看護を考えたら良いのか事例を通して臨床判断の考え方を身に着けていく基盤とする。事前課題を設け、情報収集の視点を考えモデル人形を用いて演習し、実践の中で気付き～省察までの臨床判断の一連の流れを体験し理解する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	Ⅰ　小児の臨床判断について	講義	有	加藤
2	Ⅱ　呼吸困難を呈する小児への臨床判断 1.事例展開①	個人ﾜｰｸ ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	加藤
3	1.事例展開②	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 演習	有	加藤
4	1.事例展開③	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 演習	有	加藤
5	Ⅲ　消化器症状を呈する小児への臨床判断 1.事例展開①	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 演習	有	北川
6	1.事例展開②	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 演習	有	北川
7	1.事例展開③	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 演習	有	北川
8	2.小児の臨床判断のまとめ	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	加藤

〈　評　価　〉

提出物6割（事前課題・シートの提出、振り返り）、グループワーク（協調性および積極性）、および演習態度4割を総合評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・奈良間美保他：系統看護学講座専門分野Ⅱ小児看護学[1]小児看護学概論小児臨床看護総論[電子版],医学書院.

・奈良間美保他：系統看護学講座専門分野Ⅱ小児看護学[2]小児臨床看護各論[電子版],医学書院.

・浅野みどり・杉浦太一・大村知子：発達段階からみた 小児看護過程+病態関連図,第 4 版,東京,医学書院,768p,2021.

・茎津智子:発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程, 第 2 版, 東京, 医歯薬出版,146p,2021.

・山元恵子：新訂第2版写真でわかる小児看護技術アドバンス(Web動画付) [電子版],インターメディカ.

専門分野 母性看護学	授業科目	母性看護の基礎	2年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	野田　孝子		
科目目標 概　　要	1. 母性の概念を多側面から捉え、リプロダクティブ・ヘルス／ライツを支援する看護を理解する。 2. 女性の生涯を通じた性と生殖の健康を考え、母性看護の意義を理解する。 3. 女性とその家族、およびそれらの対象が生活する地域社会の健康を支援する母性看護の役割を理解する。 4. 次世代の健全育成を視野に、自己の健康観や生命観を培う。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	母性看護総論、母性看護における倫理的課題	講義	有	野田
2	セクシュアリティ リプロダクティブ・ヘルス／ライツ	講義	有	野田
3	母性保健施策、関係法規	講義	有	野田
4	母子保健統計①	講義	有	野田
5	母子保健統計②	講義	有	野田
6	母性看護の場と職種 母性看護の対象を取りまく環境	講義	有	野田
7	月経周期、内分泌系の変化	講義	有	野田
8	性感染症	講義	有	野田
9	思春期の健康問題と看護	講義	有	野田
10	成熟期・更年期の健康問題と看護	講義	有	野田
11	性の健康教育①	演習	有	野田
12	性の健康教育②	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	野田
13	性の健康教育③	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	野田
14	性の健康教育④	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	野田
15	筆記試験	試験	無	野田

〈評価〉

筆記試験8割　提出物2割で総合評価する。
ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・森恵美他：系統看護学講座専門分野Ⅱ母性看護学1　母性看護学概論［電子版］,医学書院.

専門分野 母性看護学	授業科目	母性看護の援助論Ⅰ	2年次前後期　1単位　15時間
科目担当責任者	亀井　聡子		
科目目標 概　　要	1.妊娠に伴う女性の身体的・精神的・社会的な変化と胎児の発育を学び、妊娠期にある女性と胎児の健康を支援する看護を理解する。 2.妊娠期にある女性のセルフケア能力を活かし、女性とその家族が安全な出産をむかえられるよう準備期間を支援する看護を理解する。 3.妊娠期にある女性と胎児の異常を学び、周産期の健康危機状況における看護を理解する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	妊娠の定義、妊娠期間の区分 妊娠の成立過程 胎児の発育、催奇形因子、胎児循環 胎児付属物	講義	有	亀井
2	妊娠に伴う母体の変化 妊婦疑似体験	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	亀井
3	マイナートラブル 妊娠に伴う心理・社会的変化	講義	有	亀井
4	妊婦と胎児のアセスメント 妊婦健康診査	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	亀井
5	NST判読 妊娠期の日常生活と看護	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	亀井
6	妊娠期の異常① ・妊娠期に特有な異常 ・全身疾患合併妊娠 ・妊娠期の感染症	講義	有	亀井
7	妊娠期の異常② ・妊娠高血圧症候群 ・妊娠糖尿病	講義	有	亀井
8	筆記試験	試験	無	亀井

〈評価〉

筆記試験8割　提出物2割で総合評価する。

ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・森恵美他：系統看護学講座専門分野Ⅱ母性看護学2母性看護学各論[電子版],医学書院.

・平澤美恵子・村上睦子：新訂版写真でわかる母性看護技術アドバンス[Web動画付]［電子版],インターメディカ.

専門分野 母性看護学	授業科目	母性看護の援助論Ⅱ	2年次後期　1単位　30時間
科目担当責任者	亀井　聡子		
科目目標 概　　要	1. 分娩期と産褥期にある対象の特性を学び、子を産み育てる対象のもてる力を活用する看護が理解できる。 2. 母子とその家族の価値観や権利を尊重し、育児支援という看護の視点から看護者の役割と姿勢が理解できる。 3. 新生児期にある対象の特性を学び、健康な成長や発達を助長する看護が理解できる。 4. 分娩・産褥期にある女性と新生児期の異常を学び、周産期の健康危機状況における看護を理解する。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	分娩の定義、分娩3要素 分娩進行に伴う母体・胎児の変化	講義	有	亀井
2	分娩第1期の看護	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	亀井
3	分娩第2期～4期の看護	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	亀井
4	分娩期の異常	講義	有	亀井
5	新生児の定義、子宮外生活への適応過程	講義	有	亀井
6	早期新生児期の看護	講義	有	亀井
7	新生児期の異常、新生児の全身観察	講義	有	亀井
8	新生児の清潔ケア、おむつ交換、更衣、抱っこ	演習	有	亀井
9	産褥の定義、退行性変化と促進する看護	講義	有	亀井
10	進行性変化と促進する看護	講義	有	亀井
11	母乳育児支援の実際	講義	有	助産師 古舘
12	産褥期の異常	講義	有	亀井
13・14	沐浴技術演習	技術試験	無	亀井
15	筆記試験	試験	無	亀井

〈評価〉
筆記試験8割、技術試験2割で総合評価する。
ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・森恵美他：系統看護学講座専門分野Ⅱ母性看護学2母性看護学各論[電子版],医学書院.
・平澤美恵子・村上睦子：新訂版写真でわかる母性看護技術アドバンス[Web動画付]［電子版],インターメディカ.

専門分野 母性看護学	授業科目	母性看護過程の展開	3年次前期　1単位　15時間
科目担当責任者	亀井　聡子		
科目目標 概　　要	1. 女性の健康問題について幅広く学び、母性看護における健康観を培う。 2. ウエルネスの視点から周産期にある対象を理解し、看護を展開する基礎的能力を培う。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	生殖をめぐる諸問題 ・不妊症、不育症 ・出生前診断	講義	有	亀井
2	母性看護における看護過程の展開①	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	有	亀井
3	母性看護における看護過程の展開②	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	無	亀井
4	母性看護における看護過程の展開③	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	無	亀井
5	母性看護における看護過程の展開④	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	無	亀井
6	母性看護における看護過程の展開⑤	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	無	亀井
7	母性看護における看護過程の展開⑥	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	無	亀井
8	筆記試験	試験	無	亀井

〈評価〉

筆記試験5割、 提出物5割で総合評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・森恵美他：系統看護学講座専門分野Ⅱ母性看護学2母性看護学各論[電子版],医学書院.

・平澤美恵子・村上睦子：新訂版写真でわかる母性看護技術アドバンス[Web動画付] [電子版],インターメディカ.

専門分野 精神看護学	授業科目	精神看護の基礎	2年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	細海　克守		
科目目標 概　　要	精神の健康についての考えを学び健康をおびやかす要因を理解し、その予防や支援のあり方を理解できる。 1. 精神看護の対象と役割・機能についての概略をとらえ、精神看護における今後の課題について理解できる。 2. 患者－看護者関係理解を発展する基礎を学ぶ。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	精神の健康と障害、精神の健康の定義	講義	有	細海
2	精神障害のとらえ方（国際生活機能分類）	講義	有	細海
3	人間の心の動き　人格と気質、知能、意識と認知機能	講義	有	細海
4	心のしくみと人格の発達　精神分析と精神力動論 防衛機制	講義	有	細海
5	精神看護に必要な様々な理論	講義	有	細海
6	心の危機とストレス　危機の概念、予防、危機介入	講義	有	細海
7	ストレスと対処（コーピング）、適応理論	講義	有	細海
8	援助関係の構築　信頼関係の基礎作り ケアの原則と方法	講義	有	細海
9	患者－看護師関係の発展と終結	講義	有	細海
10	家族関係と精神の健康問題	講義	有	細海
11	人間と集団（グループプロセス、グループダイナミクス）	講義	有	細海
12	精神症状と状態像、精神障害	講義	有	細海
13	様々な精神症状の理解（統合失調症）	講義	有	細海
14	精神障害の診断と分類	講義	有	細海
15	試験	試験	無	細海

〈評価〉

筆記試験(8割)、提出物（1割)・授業態度・出席状況(1割)を総合して評価する。

ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・武井麻子他：系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎[電子版],医学書院.

・武井麻子他：系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開[電子版],医学書院.

専門分野 精神看護学	授業科目	精神看護の援助論	2 年次後期　1 単位　30 時間
科目担当責任者	更谷　周子		
科目目標 概　　要	精神障害者の健康課題を理解し、対象の尊厳を尊重した看護を実践する基礎を学ぶ 1. 対象の特徴を理解し、倫理観をもち権利を尊重する態度を養う。 2. ストレングスやレジリエンスに着目し個人が回復する力を把握し支援できる。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	入院の意味・治療的関係の調整 精神保健福祉法と入院形態	講義	有	田尻
2	安全を守る看護　リスクマネジメントと行動制限	講義	有	田尻
3	緊急事態に対処する（自殺、暴力、攻撃的行動）	講義	有	田尻
4	身体をケアする 身体のケアとこころの痛み　身体合併症	講義	有	田尻
5	活動と休息（睡眠障害）（グループプログラム）	講義	有	田尻
6	食事と栄養（拒食）、清潔・みだしなみ	講義	有	田尻
7	精神科の治療 薬物療法、精神療法、環境療法・社会療法	講義	有	田尻
8	再構成の目的と意義	講義	有	更谷
9	再構成の活用	講義・演習	有	更谷
10	薬物療法の実際 1	講義・演習	有	更谷
11	精神障害者のリカバリーと援助技術（レジリエンス）	講義	有	更谷
12	精神症状マネジメント　幻覚・妄想	講義	有	更谷
13	精神症状マネジメント抑うつ	講義	有	更谷
14	精神症状マネジメントアディクション（嗜癖・摂食障害）	講義	有	更谷
15	試験	試験	無	更谷

〈　評　価　〉

筆記試験 8 割　提出物（1 割）・授業態度・出席状況（1 割）で総合評価する。ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・武井麻子他：系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎［電子版］, 医学書院.
・武井麻子他：系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開［電子版］, 医学書院.

専門分野 精神看護学	授業科目	精神看護と多職種協働	2年次後期　1単位　15時間
科目担当責任者	戸田　悦子		
科目目標 概　　要	1. 社会と精神障害者の関係を理解し、多職種と連携・協働する基礎的な能力を身につける。 2. 社会生活に及ぼす健康課題を理解し、対象の自立、回復について援助のあり方と看護の役割を学ぶ。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	地域で生活するための原則、制度（社会福祉施設など）	講義	有	精神保健福祉士佐々木
2	地域での看護の実際	講義	有	
3	精神障害と治療の歴史	講義	有	
4	当事者による講話（地域での生活、病気についてなど）	講義	有	
5	医療の現場におけるメンタルヘルスと看護	講義	有	戸田
6	災害時のメンタルヘルスと看護	講義	有	戸田
7	看護師における感情労働と看護師のメンタルヘルス	講義	有	戸田
8	試験	試験	無	戸田

〈　評　価　〉

筆記試験8割　提出物（1割）・授業態度・出席状況(1割)で総合評価する。ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない

〈　テキストおよび参考文献　〉

・武井麻子他：系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎[電子版],医学書院.
・武井麻子他：系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開[電子版],医学書院.

専門分野 精神看護学	授業科目	精神看護過程の展開	3 年次前期 1 単位（15 時間）
科目担当責任者	更谷　周子		
科目目標 概　　要	臨床判断を活用し、精神障害・精神疾患のある対象者を理解し個別性に合わせた看護を科学的に実践する方法を身に付ける。 1. 事例を用いた看護過程の展開からケア計画立案ができる。 2. 臨床判断のプロセスに沿った思考過程を学ぶ。 3. 対象の QOL を支える看護の基礎を身につける。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	精神障害・精神疾患のある対象者（事例）の情報整理	講義・演習	有	更谷
2	看護につながる病態の理解 （病態関連図によるディスカッション）	演習	有	更谷
3	臨床判断を活用したアセスメント方法①	演習	有	更谷
4	臨床判断を活用した計画・立案・評価②	演習	有	更谷
5	臨床判断を活用した計画・立案・評価③	演習	有	更谷
6	病棟での臨床判断事例	演習	有	更谷
7	臨床判断を活用した計画・立案・評価④	演習	有	更谷
8	臨床判断を活用した計画・立案・評価の模範解答	講義	有	更谷

〈　評　価　〉

演習評価表を用いて評価する

〈　テキストおよび参考文献　〉

・武井麻子他：系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎[電子版],医学書院.
・武井麻子他：系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開[電子版],医学書院.

専門分野 看護の統合と実践	授業科目	看護管理	3年次後期　1単位　15時間
科目担当責任者	戸田悦子　砂川市立病院看護管理者		
科目目標 概　　要	1.質の高い看護実践を行うために、看護実践と看護管理（マネジメント）が重要であることを理解する。 2.自分自身が社会人･職業人としてキャリアを重ねるためのキャリアマネジメントを概観できる。		

回	内　容	形態	資料	担当講師
1	看護とマネジメント 1）看護管理の基本的要 2）これからのマネジメント 3）チーム医療とマネジメント 4）日常業務のマネジメント	講義	有	戸田
2	看護職とキャリアマネジメント① 1）看護職のキャリア形成 2）タイムマネジメント 3）ストレスマネジメント	講義	有	戸田
3	看護職とキャリアマネジメント② 1）自身のキャリアラダー	演習	有	戸田
4	看護職とキャリアマネジメント③ 1）先輩へのインタビュー （トップマネージャー・CNS・CNなど）	演習	有	戸田
5	組織としての看護サービスマネジメント 1）看護サービス提供の仕組み 2）人材マネジメント 3）施設･物品･情報マネジメント	講義	有	看護管理者
6	マネジメントに必要な知識と技術 1）組織とマネジメント 2）リーダーシップ 3）コンフリクト	講義	有	看護管理者
7	看護を取り巻く諸制度 1）法的根拠と責任 2）職業倫理 3）専門性の高い看護職 4）医療制度	講義	有	看護管理者
8	試験	試験	無	戸田

〈 評価 〉

筆記試験（7割）、提出物（3割）を総合して評価する。ただし、それぞれにおいて合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉

･上泉和子：系統看護学講座　看護の統合と実践[1]看護管理[電子版],医学書院.

専門分野 看護の統合と実践	授業科目	看護研究	3 年次前後期　1 単位　30 時間
科目担当責任者	戸田　悦子		
科目目標 概　　要	看護における研究力(問題発見、問題分析、倫理的思考)の基礎的知識を習得する 1. ケーススタディを通し、仮説、検証し、自身の看護技術の向上や気付きを得る 2. ケーススタディを通して、新たな看護方法を発見できる 3. 文献検索の方法を活用し、研究計画書を作成できる 4. 聴衆を意識した発表、意見交換を通して、研究者としての姿勢を身につける		

回	内　容	形態	資料	担当講師
1	看護研究とは	講義	有	戸田
2	研究方法と倫理的配慮	講義	有	戸田
3	ケーススタディとは／　進め方 研究計画書	講義	有	戸田
4	文献の種類と文献検索	講義・演習	有	戸田
5	文献検索の実際	演習	無	戸田
6	文献の読み方／引用文献の示し方	講義	有	戸田
7	ケーススタディ計画書を用いた中間報告 文献クリティーク	演習	有	戸田
8	ワークシートの取り組み ケーススタディの構成に基づき、内容を整理する	講義・演習	有	担当教員
9	ワークシートの取り組み	演習	無	担当教員
10	論文指導　(はじめに・考察)	演習	無	担当教員
11	論文指導　(はじめに・考察)	演習	無	担当教員
12	論文指導（はじめに・おわりに）	演習	無	担当教員
13	効果的なプレゼンテーション	演習	無	担当教員
14･15	発表会	発表	有	担当教員

〈 評価 〉

評価表に基づいた評価

〈　テキスト　〉

･坂下玲子：系統看護学講座　看護研究[電子版], 医学書院.

･松本　孚：看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方, 第 2 版, 照林社, 257p, 2017.

〈　参考文献　〉

･井部俊子：看護師のための文章ノート,東京,日本看護協会出版会, 48p, 2018.

専門分野 看護の統合と実践	授業科目	災害看護・国際看護	3 年次後期　1 単位 15 時間
科目担当責任者	戸田　悦子　　新村　智宏		
科目目標 概　　要	1. グローバリゼーションが進展している現在、災害は国境を超え国同士相互に影響を及ぼすことを理解できる。 2. 災害看護と国際看護の密接な関係を学び、看護職の国際的な活動を理解する。		

回	内容	形態	資料	担当講師
1	グローバル化した社会と災害国際看護 1）災害看護･国際看護の原則 2）看護とグローバリゼーショ 3）持続的な開発目標（SDGｓ）と防災･減災	講義	有	戸田
2	国際看護の実際 1）グローバルヘルス 2）国際救援と看護 3）国際協力の課題	講義 視聴覚教材	有	戸田
3	災害看護の実際 1）災害医療の特徴 2）災害とこころのケア	講義 視聴覚教材	有	救急看護 認定看護師 新村
4	災害各期に合わせた看護 1）緊急時･災害初期の活動 2）中長期的ケア 3）備え	講義	有	
5	災害看護の実践 想定演習	演習	有	
6	災害看護の実践 想定演習	演習	有	
7	統合学習 災害看護と国際看護についてプレゼンテーション	演習	有	戸田
8	筆記試験	試験	無	戸田

〈 評価 〉

筆記試験（5 割）、提出物（5 割）を総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

･竹下喜久子編：系統看護学講座 看護の統合と実践[3]専門分野 災害看護学・国際看護学[電子版],医学書院.

専門分野 看護の統合と実践	授業科目	臨床判断の応用	3年次前後期　1単位　30時間
科目担当責任者	田尻　美紀　　亀井　聡子　　槙　麻夕子　　加藤　恵　　更谷　周子		
科目目標 概　　要	臨床判断のプロセスに沿った思考過程と実践の定着を目指す 1. 事例検討を通して「看護師らしい思考」を学び、既習の知識と実践を繋げて問題解決に取り組むことが出来る 2. 課題への取り組みを通して、臨床判断の基礎的な能力を身につける 3. 点滴静脈注射の実践に必要な基礎的技術を身につける		

回	内容	形態	資料	担当講師
1	事例を用いた看護実践(点滴静脈注射)①	講義 演習	有	田尻
2	事例を用いた看護実践(点滴静脈注射)②	演習	有	田尻
3	事例を用いた看護実践(点滴静脈注射)③	演習	有	田尻
4	事例を用いた看護実践(点滴静脈注射)④	演習	有	田尻
5	事例を用いた看護実践(点滴静脈注射)⑤	演習	有	田尻
6	領域別の臨床判断の演習① （地域・在宅、成人・老年Ⅱ、Ⅲ、小児・母性、精神）	演習	有	田尻
7	領域別の臨床判断の演習①´	演習	有	田尻
8	領域別の臨床判断の演習② （地域・在宅、成人・老年Ⅱ、Ⅲ、小児・母性、精神）	演習	有	亀井
9	領域別の臨床判断の演習②´	演習	有	亀井
10	領域別の臨床判断の演習③ （地域・在宅、成人・老年Ⅱ、Ⅲ、小児・母性、精神）	演習	有	槙
11	領域別の臨床判断の演習③´	演習	有	槙
12	領域別の臨床判断の演習④ （地域・在宅、成人・老年Ⅱ、Ⅲ、小児・母性、精神）	演習	有	加藤
13	領域別の臨床判断の演習④´	演習	有	加藤
14	領域別の臨床判断の演習⑤ （地域・在宅、成人・老年Ⅱ、Ⅲ、小児・母性、精神）	演習	有	更谷
15	領域別の臨床判断の演習⑤´	演習	有	更谷

〈 評価 〉
技術試験(点滴静脈注射5割、領域別の臨床判断演習5割)を総合して評価する。
ただし、技術試験においてはそれぞれ合格しなければならない。

〈　テキストおよび参考文献　〉
講義開始にテキストおよび参考文献を掲示する。